



八幡小だより

強く正しく明るく

開校 150 周年目の山鹿市立八幡小学校

令和 6 年度学校だより No.20

2025.1.28 (火) 発行 校長 森 每恵



校訓 「強く 正しく 明るく」

教育目標 「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」

目指す児童像 「強い子 正しい子 明るい子」

3学期スタート

～仕上げの学期、次年度0学期として見通しを持つ～

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。今年の干支「巳年」には、諸説ありますが「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来を掴む」という意味があるそうです。3学期の授業日数は49日。本日で登校する日には後36日となりました。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と、瞬く間に過ぎる様が表現されています。1日1日を大切に過ごしたいですね。

さて、3学期始業式では、別紙のようなスライドを用い、また歌手のAIさんの「みんながみんな英雄」という歌を紹介しながら「失敗することを恐れず、いろんなことにチャレンジすることが、成長に繋がる」という話をしました。また、3学期は「今の学年の仕上げの学期」であり、次の学年の準備をする「0学期」でもあると伝えています。八幡っ子一人一人が、自分の夢実現のために、いろんなことにチャレンジすることを私たち教職員は保護者の皆様とともに、「本気でとことん」力いっぱい応援していきたいと思います。

写真は、始業式で代表児童が意見発表をしている様子です。

【代表児童】

1年：古川たくまさん
3年：内野かほさん
5年：田上ひまりさん



今の時代だからこそ

新春フェスタに向けて、和凧を手作りしました。有志の子どもたちで絵付け、文字書き、組み立てをし完成。買えば、何でも安価に手に入りやすい時代ですが、試行錯誤しながら、創り出すことに価値があると思います。



アンドレ先生と Let's have lunch!

アンドレ先生は、月・火曜日に来校され、3・4年生に外国語活動を、5・6年生に外国語を教えてくださっています。1月から順番に学級を訪問し、給食を一緒にしていただくことにしました。アンドレ先生の母国ブラジルのことや、趣味や子どもの頃の話など楽しいお話をたくさんしてくださっています。

八幡っ子にはいろいろな方とふれあい、視野を広げてほしいと思います。



八幡っ子新春ふれあいフェスタ

(鏡開き) 開催 1/25



【写真上から手作り和凧、鏡割りのようす】

多くの来賓の方々をお迎えして実施したPTA主催の新春イベントは大盛況でした。



【肥後ちゅんかけ独楽の実演】

肥後ちゅんかけ独楽のブースでは、同協会の川口さん、寺本さんの実演の後、実技指導をしていただき、上手に操作できるようになった子も多くいました。この他、杉区の長瀬さんの手ほどきを受けた和凧上げや剣玉、山鹿市の名所を扱ったすごろく、竹とんぼ、輪投げなどを来賓の方々や保護者の方々と一緒に楽しみました。お天気に恵まれ、暖かな日差しの中で楽しいひとときを過ごしました。昔遊びの後は、PTAの皆様の心づくしの焼き餅とぜんざいに舌鼓を打ちました。

写真右は、1月11日にPTA執行部の皆さん寒い中、参集し鏡餅作りをしてくださっている様子です。



企画・運営をして下さったPTAの皆様、素敵な時間を、そして全校での温かい思い出づくりをありがとうございました。

